



歩行空間ネットワークデータ整備ツールの改修

令和3年4月

政策統括官付



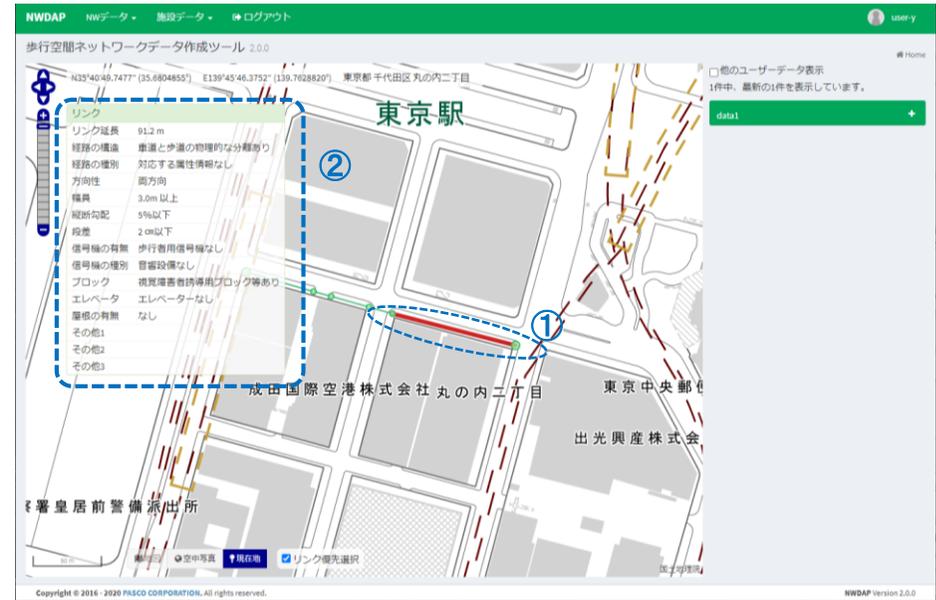
- データ整備ツールは、歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案（2018.3）の情報項目及び属性情報を入力することが可能なWeb型のシステムで、平成30年より無償で国土交通省から公開したデータ整備ツール。
- ネットワーク図形状と属性情報の新規入力・編集、入力したデータの図形形状と属性情報の閲覧機能を装備。
- タブレット端末やパソコンを利用し、画面に表示された地図を背景に「ノード」や「リンク」の簡易入力が可能。「リンク」の段差や幅員等の属性情報についてプルダウンによる選択入力方式を採用。
- これまでに地方自治体、民間団体、教育機関での利用実績があり。

■ データ入力・更新操作のイメージ



- ① 国土地理院の地図を背景情報とし、歩行空間ネットワークデータの形状（リンク・ノード）を入力。
- ② リンクとノードの属性情報を、プルダウンメニューから選択して入力。データ整備仕様案(2018.3)で第一層と定義した情報項目(11個)の属性情報を入力することが可能。

■ データ閲覧操作のイメージ



- ① 入力した歩行空間ネットワークデータを図上指定。
- ② リンクとノードそれぞれの属性情報を一覧表示。



- 国土交通省が提供する歩行空間ネットワークデータ整備ツールの利便性の向上のため、過去の現地事業等を通じて確認した機能面の課題を踏まえプログラム改修を実施
- 広範囲のデータ整備を効率的に実施できるよう、個別に作成された歩行空間ネットワークデータを統合する機能や、歩行経路のバリアフリー情報の入力状況を面的に確認できる機能を追加
- 歩行空間ネットワークデータ等整備仕様で定義する施設データの作成機能を追加

課題

改修内容

データ 作成/ 更新

整備範囲を分けて個別に作成したデータを接合するためには、GIS等のソフトウェアを用いてデータを接合する必要がある



データの取り込み機能

整備中のデータに、別に作成したデータを取り込んで、統合できる機能を追加

歩行空間ネットワークデータ等整備仕様で定める必須の属性情報（バリアフリー情報）以外に入力できない



任意のバリアフリー情報の入力機能

属性情報を追加入力できるよう、属性情報の入力機能を変更

施設データの作成は、GIS、Excel等のソフトウェアを使う必要があり、簡易に作成する手段がない



施設データの整備機能

施設データを作成できる機能を追加

データ 閲覧

バリアフリー情報の入力状況を把握するには、経路（リンク）を1つ1つ選択して確認する必要があり、網羅的に確認する方法がない



バリアフリー情報による色分け表示機能

幅員や段差などバリアフリー情報の内容により、歩行空間ネットワークデータ、施設データを色分けできる機能を追加

データ 出力

データエクスポート機能を使用するには、利用者がサーバを用意し、データ整備ツールの環境を構築する必要がある

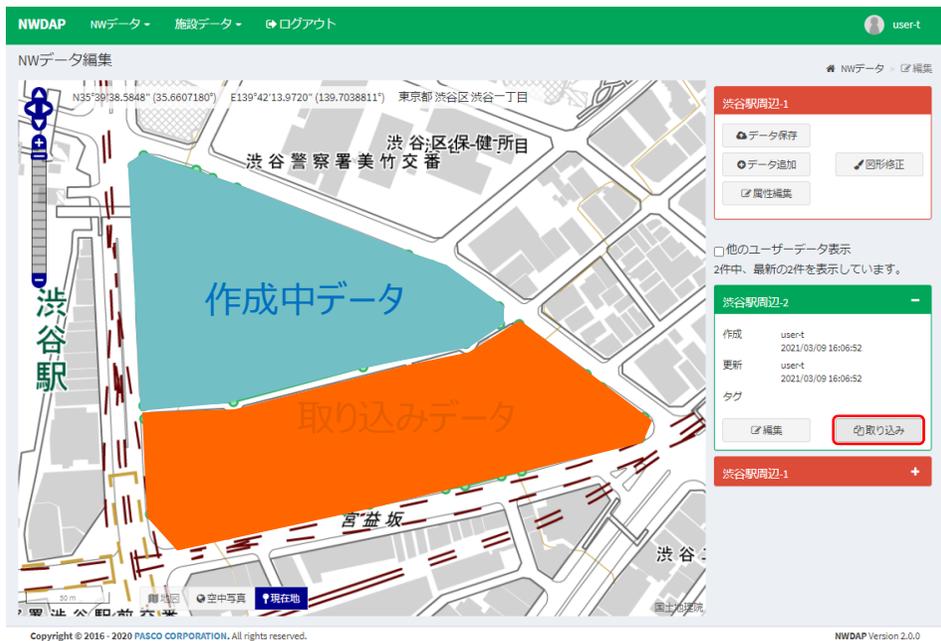


データエクスポート機能

全ての利用ユーザに対してデータエクスポート機能を利用できるよう権限を変更



■ データの取り込み機能



- ✓ 作成中のデータに対し、別に作成されたデータを取り込み、**データを統合する機能を追加**
- ✓ これより複数グループでの調査や他の主体が作成したデータと結合してデータを活用することが可能

個別に作成したデータを接合できない課題を解決

■ 任意のバリアフリー情報の入力機能



- ✓ 属性情報が選択項目のみの「**その他**」項目を追加
- ✓ これにより調査主体が独自に調査する項目(“ベンチの有無” や“横断勾配の状況” 等)を事前に設定することで、本データ整備ツールで柔軟な調査が可能

歩行空間ネットワークデータ等整備仕様で定める
必須項目以外を調査できない課題を解決



■ 施設データの整備機能

施設データ整備機能のスクリーンショット。地図上で施設を選択すると、詳細な入力フォームが表示されます。フォームには、施設名、住所、電話番号、施設種別、トイレの有無、エレベーターの有無、エスカレーターの有無、身障者用駐車場の有無、出入口のバリアフリー化の有無、授乳室の有無、ブロックの有無などが入力できます。

- ✓ 従来のデータ整備ツールを拡張し、**施設データを作成する機能を追加**
- ✓ これよりネットワークと施設データの両データを一つのツールで整備できる環境を提供

施設データを簡易に整備できない課題を解決

■ バリアフリー情報による色分け表示機能

歩行空間ネットワークデータ作成ツール 2.0.0 のスクリーンショット。地図上で経路の色分け表示が可能です。色分け表示のメニューから「幅員」を選択すると、幅員別の色分け表示が行われます。

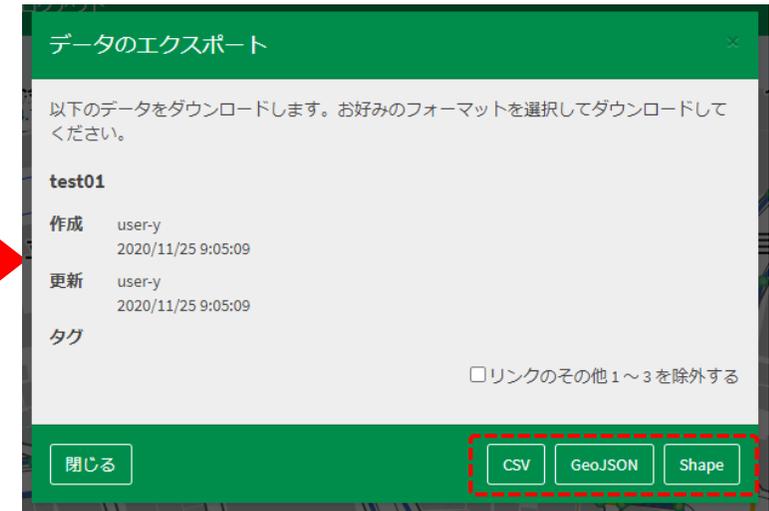
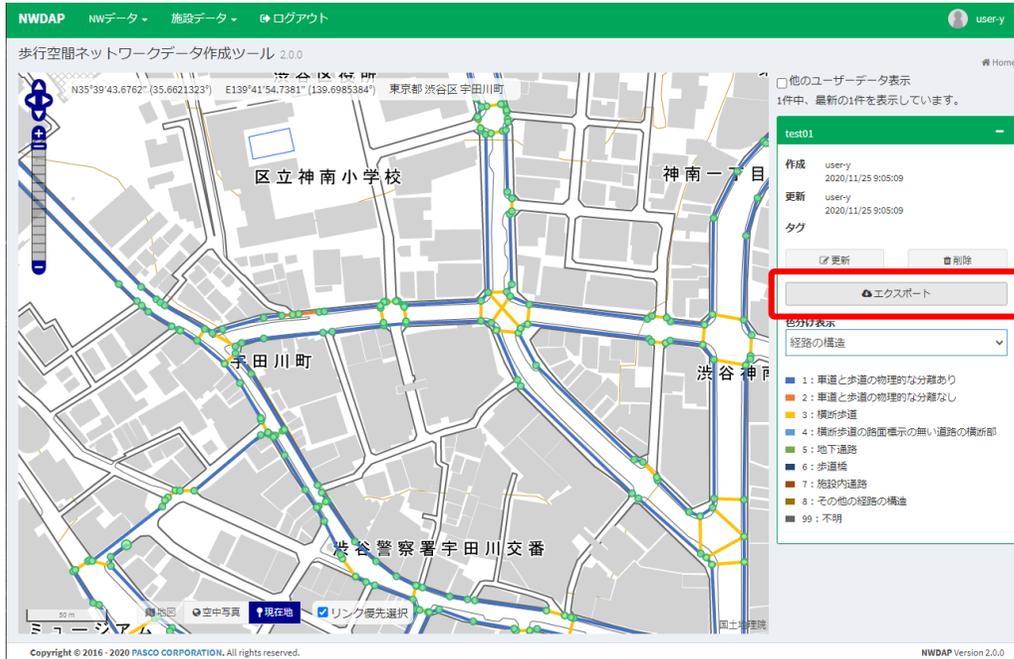
1	1.0m 未満
2	1.0m 以上～2.0m 未満
3	2.0m 以上～3.0m 未満
4	3.0m 以上
99	不明

- ✓ バリアフリー情報（経路の構造、幅員、縦断勾配、段差等）の内容により、歩行空間ネットワークデータを構成する**図形を色分け表示する機能を追加**

入力内容を網羅的に確認できない課題を解決



■ データエクスポート機能



- ✓ 全ての利用ユーザに対して**データエクスポート機能**を利用できるよう**権限を変更**
- ✓ ネットワークデータ、施設データ共に3種類の形式(CSV、GeoJSON、Shapefile)でエクスポート可能
- ✓ これより国土交通省のホームページ上で公開している本データ整備ツール上で、全ての利用者がデータの作成と出力が可能となり、GISソフトを保有しない利用者でも歩行空間ネットワークデータを保有できる環境を提供

利用者がサーバを用意しないと整備したデータを利用できない課題を解決